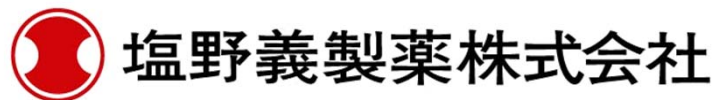




2012年度 第3四半期
Conference Call

2013年2月4日



将来見通しに関する注意事項



- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。その情報は、現時点において入手可能な情報から予測した見込み、リスクを伴う想定、実質的に異なる結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利や為替レートの変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
リスクや不確実性は、特に既存および開発中の製品に関連した見通し情報に存在します。それらには、臨床試験の完了ならびに中止、規制当局からの承認取得、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念の発生、技術の進歩、重大な訴訟における不利な判決、国内外各国の保健関連制度の改革や法規制などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、既存製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす能力を欠く状況、原材料の入手困難、他社との競合などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

2012年度 第3四半期決算の概要

2012年度 第3四半期決算



経営成績（連結）

（単位：億円）

	2012年度 通期予想	2012年度 4-12月実績	対予想 進捗率 (%)	2011年度 4-12月実績	対前年同期	
					UP率 (%)	増減額
売上高	2,830	2,114	74.7	1,987	6.4	127
営業利益	560	432	77.2	347	24.6	85
経常利益	540	426	78.9	346	23.2	80
四半期純利益	320	283	88.6	186	52.6	97

● 各利益面は、第3四半期累計期間の実績としていずれも過去最高益

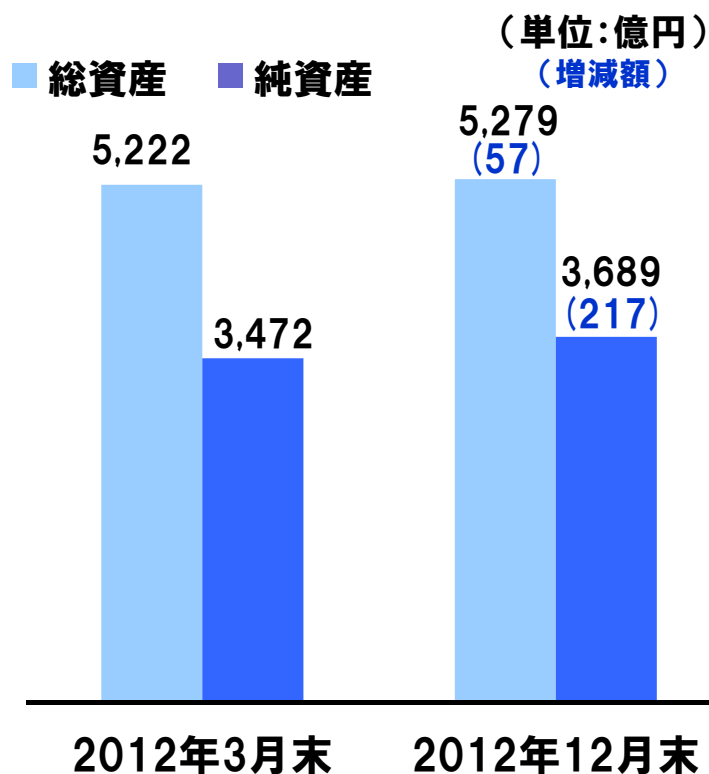
注：表記は億円未満を四捨五入

2012年度より、有形固定資産の減価償却方法を、従来主として採用していた定率法から定額法に変更しました。この変更により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は23億円、経常利益は24億円増加しております。

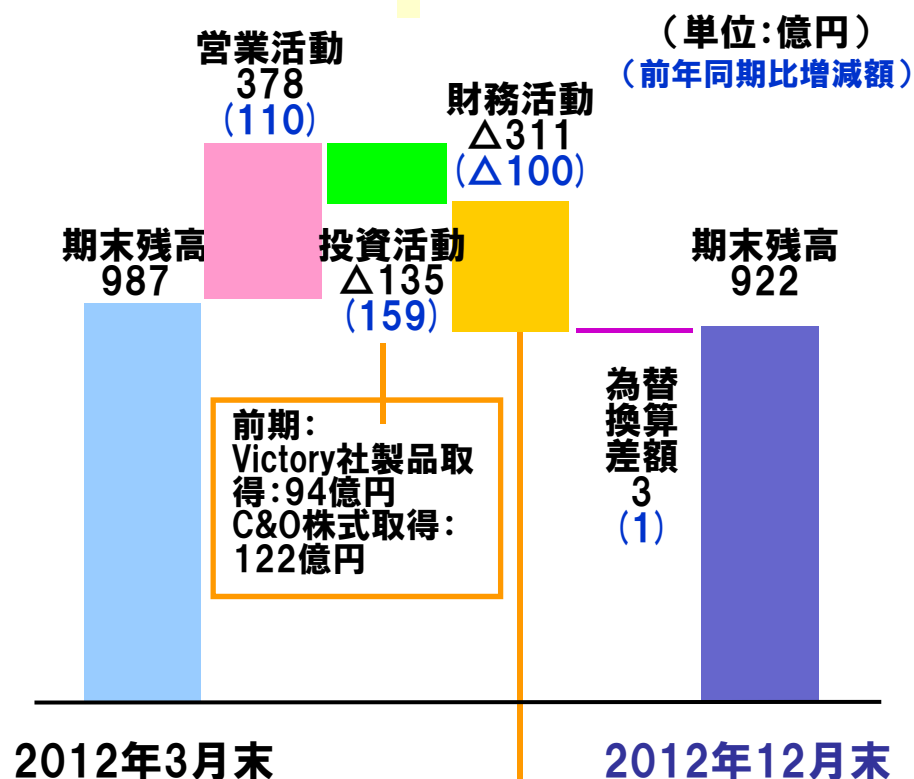
為替レート(期中平均)		2012年度前提	2012年4-12月実績
ドル		80	79.95
ユーロ	—	105	102.03

財政状態およびキャッシュ・フローの状況（連結）

◆ 財政状態



◆ キャッシュ・フローの状況



	2012年3月末	2012年12月末
自己資本比率	65.9%	69.3%

当期:
社債の償還:100億円

2012年度 第3四半期決算

損益計算書（連結）



（単位：億円）

	2012年		対予想 進捗率 (%)	2011年	対前年同期		2012年	2011年	対前年 同期UP 率 (%)
	下期予想	10-12月 実績		10-12月 実績	UP率 (%)	増減額	4-12月 実績	4-12月 実績	
売上高	1,457	741	50.9	747	△0.8	△6	2,114	1,987	6.4
（ロイヤリティー収入）	357	188	52.6	167	12.2	21	522	510	2.2
売上原価	27.3 (36.2)	26.4 (35.4)		29.6 (38.1)			28.3 (37.6)	30.0 (40.4)	
	398	196	49.3	221	△11.2	△25	598	596	0.3
売上総利益	1,059	545	51.5	526	3.6	19	1,516	1,391	9.0
販売費・ 一般管理費	52.2	50.5		48.4			51.3	52.5	
	760	374	49.2	362	3.4	12	1,084	1,044	3.8
販売・管理費	480	227	47.3	236	△3.6	△9	687	661	4.0
研究開発費	280	147	52.5	126	16.5	21	397	383	3.5
営業利益	20.5	23.1		22.0			20.4	17.5	
	299	171	57.2	164	4.0	7	432	347	24.6
特別損益	-	P26	-	L8	-	-	P23	L46	-

注：赤文字は売上高に対する割合。（）内はロイヤリティー収入を除外した売上高に対する売上原価の割合



特別損益（連結）：2012年4-12月実績: P23億円

<ViiV社との枠組み変更に伴う特別損益> P18億円

- 特別利益

- 投資有価証券交換益（ViiV社株式10%取得） P411億円

- 特別損失

L394億円

- 無形固定資産の減損（のれん） L254億円

- 無形固定資産の減損（販売権） L139億円

<その他特別損益> P5億円

- 特別利益

- 固定資産売却益、投資有価証券売却益 P12億円

- 特別損失

- 固定資産売却損、投資有価証券評価損など L7億円

2012年度 第3四半期決算



事業別・製品別売上高（連結）

（単位：億円）

	2012年		対予想 進捗率 (%)	2011年 10-12月 実績	対前年同期		2012年 4-12月 実績	2011年 4-12月 実績	対前年 同期UP 率 (%)
	下期予想	10-12月 実績			UP率 (%)	増減額			
国内医療用医薬品	889	452	50.9	459	△1.3	△7	1,249	1,246	0.3
戦略3品目 合計	298	158	53.1	138	14.4	20	438	381	14.9
戦略8品目 合計	447	228	51.1	201	13.8	27	626	544	15.1
海外子会社/輸出	135	66	48.6	78	△15.1	△12	※ 214	98	117.7
シオノギ Inc.	80	42	52.9	41	2.5	1	117	17	596.4
C&O	27	13	48.4	9	40.1	4	42	9	356.6
ドリペネム	4	△0	-	16	△100.4	△16	14	35	△60.3
製 造 受 託	31	13	42.3	21	△35.2	△8	58	58	△1.1
一 般 用 医 薬 品	23	12	52.0	13	△4.8	△1	40	40	0.9
診 断 薬	13	5	40.0	7	△23.8	△2	16	20	△20.3
ロイヤリティー収入	357	188	52.6	167	12.2	21	522	510	2.2
クレストール	323	157	48.7	160	△2.0	△3	464	483	△4.0
そ の 他	9	6	63.9	5	10.4	1	16	14	10.4
合 計	1,457	741	50.9	747	△0.8	△6	2,114	1,987	6.4

戦略8品目：クレストール、イルベタン、サインバルタ（以上、戦略3品目）、オキシコンチン、フィニバックス、ディフェリン、ピレスパ、ラピアクタ

※ 台湾塩野義：決算期の変更により、2012年1-12月の12ヶ月分を計上

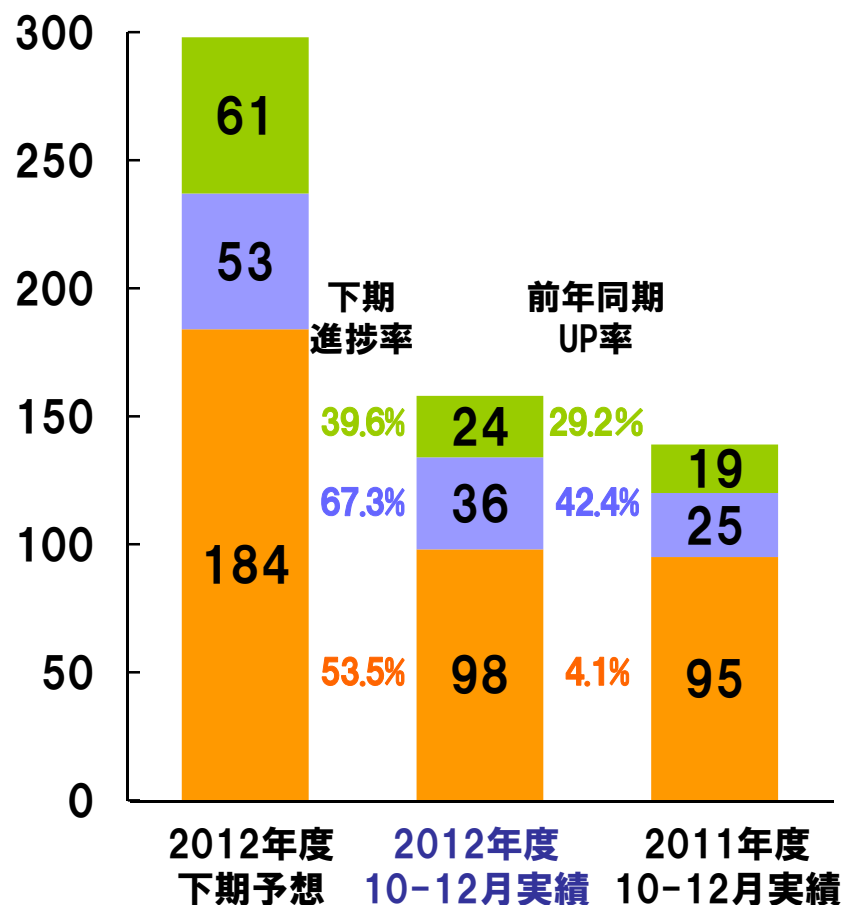
C&O：2011年10月連結子会社化、1-12月決算につき、実績は2012年7-9月分および1-9月分を計上

国内：戦略品目売上高（10-12月）

（単位：億円）

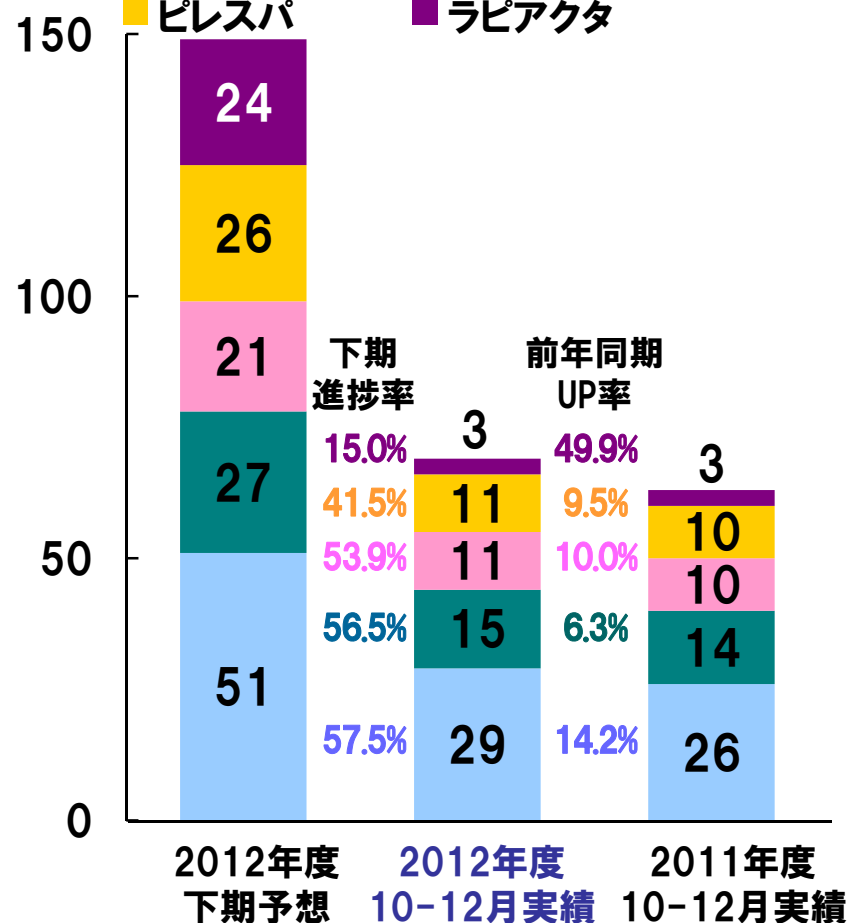
◆ 3品目

■ クレストール ■ イルベタン ■ サインバルタ



◆ 5品目

■ オキシコンチン ■ フィニバックス ■ ディフェリン
■ ピレスパ ■ ラピアクタ



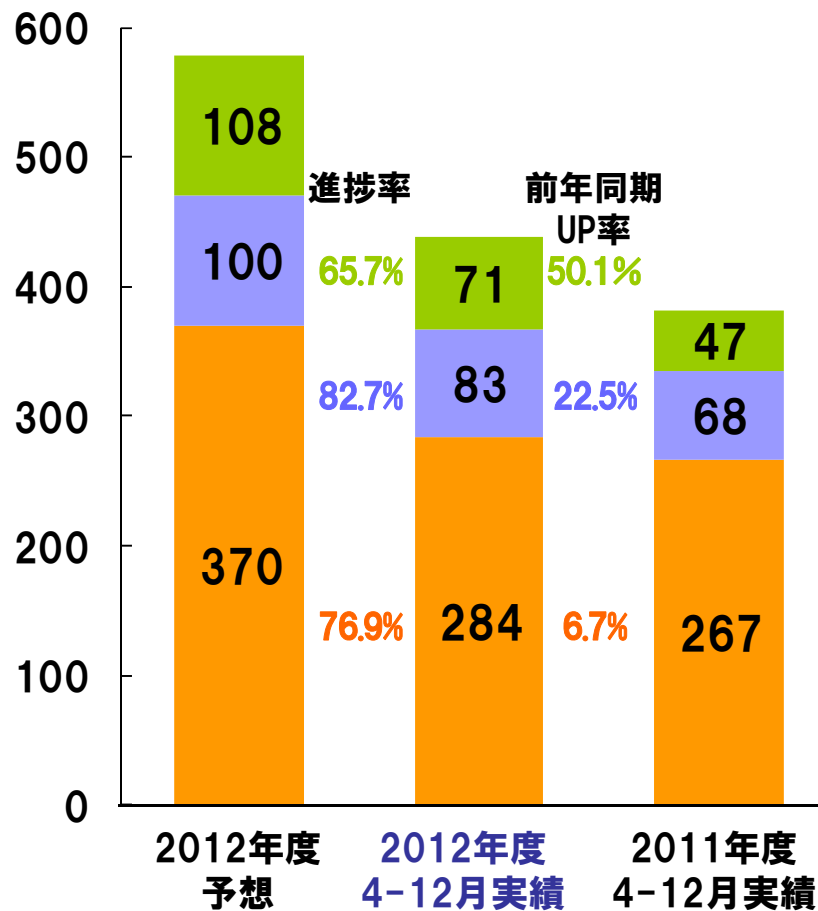


国内:戦略品目売上高(4-12月)

(単位:億円)

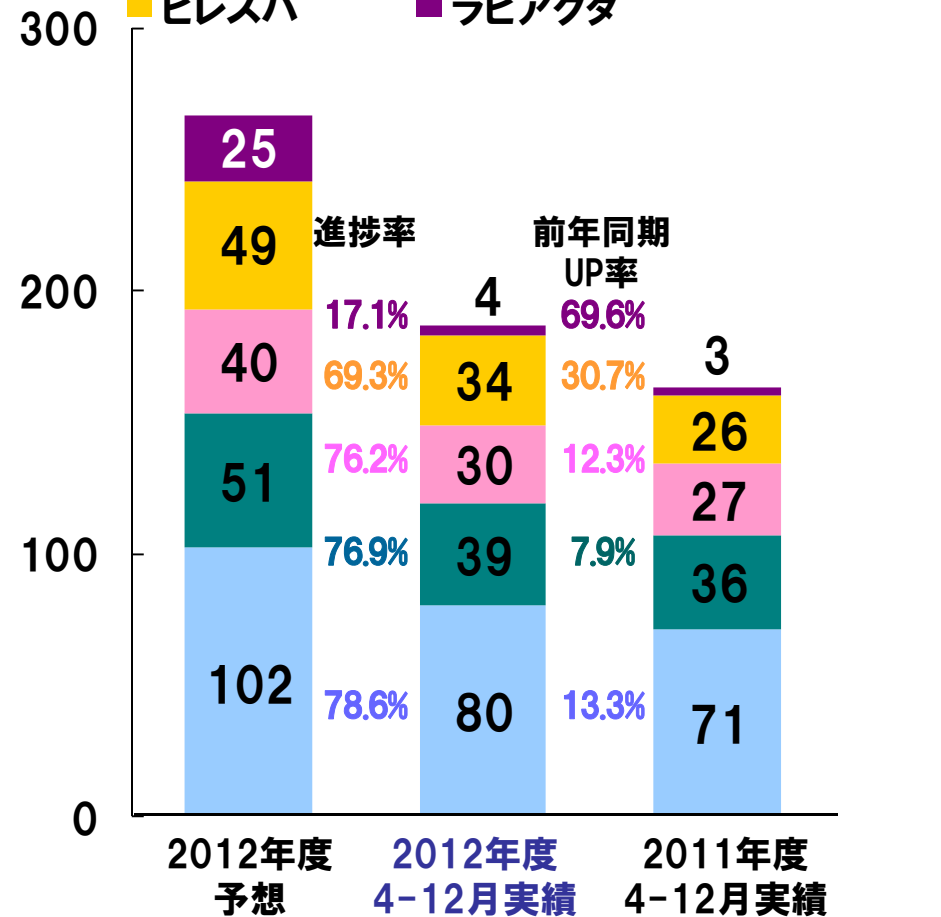
◆ 3品目

■ クレストール ■ イルベタン ■ サインバルタ



◆ 5品目

■ オキシコンチン ■ フィニバックス ■ ディフェリン
■ ピレスパ ■ ラピアクタ



2012年度 第3四半期決算



シオノギ Inc.の業績内容

(単位:百万ドル)

	2012年度			対予想 進捗率 (%)
	上期実績	下期予想	10-12月実績	
売上高	94 (75億円)	100 (80億円)	52 (42億円)	52.7
売上原価	16 (12億円)	10 (8億円)	4 (4億円)	43.5
販売・ 一般管理費	106 (84億円)	101 (81億円)	36 (30億円)	36.3
営業利益	△27 (△22億円)	△11 (△9億円)	12 (9億円)	-

注: 外貨ベースでの進捗率のため、円貨ベースでの進捗率と異なります

無形固定資産の再評価 (シオノギ Inc.)

(単位:百万ドル)

	減損額 ^{a)}	2012年12月末 簿価 ^{b)}	備考
のれん	318 (254億円)	340 (294億円)	年間償却費: 42百万ドル→22百万ドル
販売権	174 (139億円)	212 (183億円)	主な減損品目: Naprelan, Ulesfia, Sular

パイプラインの状況

主要なグローバル開発品		2012年 3月末時点	2012年度の進展目標 下段:現状 (緑文字:3Q達成、赤文字:2Q達成、青文字:1Q達成)
Ospemifene	閉経後膣 萎縮症	米国: 申請準備中	米国:申請 米国:4月申請済、欧州:申請準備中
S/GSK1349572* (Dolutegravir)	HIV感染症	グローバル: Phase III	グローバル:申請 欧米加:12月申請済
S-297995 (Naldemedine)	オピオイド投 与による副 作用緩和	日米:Phase IIb	日米:Phase IIb投薬完了、開鍵、各極規制当局との協議実施 日本:Phase IIb投薬完了 グローバル:Phase III準備中
S-555739	アレルギー性 鼻炎	日本:Phase IIb 米国:Phase I	日本:Phase IIb投薬完了、開鍵、米国:Phase IIa投薬開始 日本:Phase III開始、米国:Phase IIa投薬完了
S-888711 (Lusutrombopag)	血小板減 少症	日本:Phase IIa	日本:Phase IIb開始 日本:Phase IIb開始
S-288310	膀胱がん	アジア: Phase I/II	日本:Phase I/II試験結果により、Go/No Go判断 日本:経過追跡中
S-488410	食道がん	日本: Phase I/II	日本:Phase I/II試験結果により、Go/No Go判断 日本:経過追跡中
S-488210	頭頸部が ん	欧州: Phase I/II IND	欧州:Phase I/II投薬開始 欧州:投薬開始
S-646240	加齢黄斑 変性症	日本: Phase IIa IND	日本:Phase IIa投薬開始 日本:Phase IIa投薬開始

S-297995, S-555739, がんペプチドワクチン

◆ S-297995

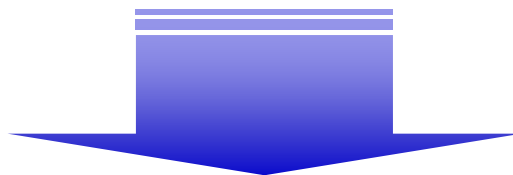
- Phase III試験に向けて各規制当局との協議準備中

◆ S-555739

- 国内先行でPhase III試験を開始

◆ がんペプチドワクチン(S-288310, S-488410, S-488210)

- S-288310(膀胱がん)、S-488410(食道がん)の国内Phase I/II試験の経過追跡中 ⇒今年度中にGo/No Go判断



シオノギの成長ドライバーとしてグローバル開発を加速

開発品の進展（2012年度2Q決算発表以降）

開発No. 【製品名】	薬効 (剤型)	適応症	ステージの進展
S-555739	プロスタグランジンD2受容体アンタゴニスト (経口)	アレルギー性 鼻炎	日本:Phase IIb ⇒Phase III
S-556971	コレステロール吸収阻害薬 (経口)	脂質異常症	日本:Phase IIa ⇒Phase IIb
S-877503	非中枢神経刺激薬 (経口)	ADHD	日本:Phase II準備中 ⇒Phase II/III準備中
S/GSK1349572* (Dolutegravir)	インテグレース阻害薬 (経口)	HIV感染症	グローバル:申請準備中 ⇒申請中(2012年12月)
S/GSK1265744 LAP*	インテグレース阻害薬 (注射)	HIV感染症	米国:Phase I ⇒Phase II

ADHD: Attention deficit hyperactivity disorder

* ViiV Healthcare Ltd.へ権利移転

開発要請を受けた品目の進展（2012年度2Q決算発表以降）

一般名 【製品名】	薬効 (剤型)	適応症	ステージの進展
シクロフォスファミド水和物 【注射用エンドキサン [®] 100mg, 注射用エンドキサン [®] 500mg】	アルキル化剤 (注射)	褐色細胞腫	公知申請(2012年11月)
プレドニゾン 【プレドニン [®] 錠 5mg】	合成副腎皮質 ホルモン剤 (経口)	デュシェンヌ型 筋ジストロフィー	公知申請の「該当性あり」 と評価
メトロニダゾール 【フラジール [®] 】	抗原虫薬 (経口)	ヘリコバクター・ ピロリ感染胃炎	公知申請(2012年8月)
プレドニゾン 【プレドニン [®] 】	合成副腎皮質 ホルモン剤 (注射/経口)	川崎病(急性期)	公知申請(2012年9月)

パイプラインの状況（2013年2月時点）



パイプラインの状況（2013年2月時点）



	Phase I	Phase IIa	Phase IIb	Phase III	申請・承認
ペプチド ワクチン	S-288310(膀胱がん) アジア:Phase I/II				赤字: 申請・承認取得 青字: Phaseの進展
	S-488410(食道がん) 日本:Phase I/II				
	S-488210(頭頸部がん) 欧州:Phase I/II				
	S-646240(加齢黄斑変性症) 日本:Phase IIa				
その他	Ospemifene(閉経後陰萎縮症) 欧州:申請準備中、米国:申請中(2012年4月)				
	PSD502(早漏) 米国:Phase III				
	S-555739(アレルギー性鼻炎) 欧州:Proof of Mechanism、米国:Phase IIa、日本:Phase III				
	S-524101(ダニ抗原によるアレルギー性鼻炎) 日本:Phase II/III				
	S-888711(血小板減少症) 欧米:Phase II、日本:Phase IIb				
	S-222611(悪性腫瘍) 欧州:Phase Ib				
	S-877489(ADHD) 日本:Phase II準備中				
	S-877503(ADHD) 日本:Phase II/III準備中				
<導出品>	S/GSK1349572(HIV感染症) グローバル:申請中(2012年12月)				
	S/GSK1265744 LAP 持続性注射剤(HIV感染症) 米国:Phase II				



End of File